

お知らせページ

在宅ケア研究会 「新介護認定について」

内容：介護保険認定調査他 情報交換
日時：4月18日（土）10:00～12:00
会場：中野区立商工会館 和室
中野区新井1-9-1 TEL:03-3389-1181
講師：鈴木さん（ケースワーカー）
参加費：無料
連絡先：根橋（03-3385-4548）

第2回「ケアマネ受験対策」 制度改定の内容を学びましょう。

日時：5月16日（土）10:00～13:00
会場
千代田区男女共同参画センター「ミュウ」
ミーティングルーム
（地下鉄「九段下駅」徒歩5分）
参加費：1,000円
講師：森本さん（介護支援専門員・社会福祉士）

第6回全都ヘルパ-集会

日時：5月24日（日）13:00～
会場：ラパスホール
（JR「大塚駅」徒歩5分）
次号で詳細詳細はお知らせします。

共に介護を学びあい 励まし合いネットワーク

〒142-0063
東京都品川区荏原1-24-23 角田アパート1F
Tel・Fax：03-3787-3117
編集責任者：藤原るか

東部地域介護シンポジウム ～都市部における訪問介護を問う～

日時：4月18日（土）14:00～16:30
会場：綾瀬プルミエ第1ホール
参加費：無料
内容：シンポジウム

シンポジスト
平野 力氏
（厚生労働省老健局振興課課長補佐）
森永 伊紀氏
（ホームヘルパー全国連絡会事務局長）
須加 千恵子氏
（すこやか福祉会訪問介護事業部部長）

コーディネーター
宮崎 和加子氏
（健和会看護介護政策研究所所長）
主催：東部地域介護シンポジウム実行委員会
連絡先
足立区千住曙町4-16 千住曙共同会館1階
電話：03-3882-8555

地域ケアネット「こむ」総会

日時：5月17日（日）13:00～
会場：日本福祉大学（名古屋）キャンパス8F
講師：石川 満先生（予定）
連絡先：地域ケアネット・こむ 東京事務局
03-3870-5533

認知症ケア・アンケート分析

日時：4月26日（日）10:00～
場所：千代田区役所1階
申し込み・問い合わせ先：ファックスにて
FAX 番号：03-3624-3082

CLA だより 第7号 09/4/4

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



「CLA（クラ）」はラテン語で憂い、辛さ、気遣い、共感などと云った意味で、英語のキューア-やケアの語源です。



南部ヘルパーのつどい準備会報告

「自費でのホームヘルプを考える」パート1～散歩～

この日はローカル・ルールの現状を品川・大田・目黒・港の事例から検討してみようという取り組みでした。

参考資料(メディカルケアネットから転載)

介護報酬「散歩」算定で東京の保険者の見解を公表
介護報酬における「散歩」の算定についての見解を東京都の保険者に求めているNPO法人「東京都介護支援専門員協議会」はこのほど途中経過を公表した。

同協議会は、昨年12月から東京都の保険者の「散歩」に対する見解について情報を収集。全53保険者(島しょ部を除く)のうち、12保険者は書面、11保険者は職員からの聞き込み、3保険者は介護支援専門員からの聞き込みによって情報を得た。

見解についての情報が得られた保険者のうち、「散歩」という表現を用いた場合には介護報酬において算定されないと同協議会が解釈しているのは15保険者だった。

書面によって見解を示している保険者のうち、条件によっては「散歩」同行がみとめられると記しているのは練馬区で、「散歩」をいう表現は認めていないものの、「ADLやQOLの向上に資する外出介助」などについて個別に判断すると記しているのは、西東京と墨田、荒川

、港、文京、台東、江東、杉並の各区となっている。中野区は単なる「散歩」同行は認められないと記しており、あきる野市はQOL・ADLの向上を目的とする「散歩」同行であっても認められないとしている。

同協議会は、適切なアセスメントに基づき、ADLおよびQOLの向上を目的として行われる「散歩」の同行が、介護保険で算定されるよう提言活動をしてゆきたいとしている。

介護報酬上の「散歩」については、昨年11月18日に大河原雅子参議院議員(民主)が訪問介護員による「散歩」の支援が認められていない現状についての見解を求める質問趣意書を提出。

政府は12月2日付けの答弁書で、訪問介護員による「散歩」の同行について、「適切なケアマネジメントに基づき、自立支援、日常生活活動の向上の観点から、安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う物については、利用者の自立した生活の支援に資するものと考えられることから、現行制度においても、介護報酬の算定は可能である」との見解を示している。

次回も引き続きローカルルールの現状を話し合うことになりました。



やった～!

東京都社会福祉協議会「夢ファンド」(ボランティア・市民活動支援総合基金助成)より「南部ヘルパーのつどい」に9万7千円の補助金が付きました!

年度内開催に向け、智恵を集めましょう!



次回日程

日時: 2009年4月25日(土) 18:00～
場所: 南部労政会館 第1会議室(JR「大崎」より徒歩3分)
話題提供: 「自費でのホームヘルプサービスを考える」パート2～通院～

認知症ケア・アンケートの分析の中間報告

現在、寄せられた声(340件)を合わせて分析しています。制度改正の検討に入る夏までにまとめを出してゆく予定です。前回、着目したのは、家族介護者に対するの援助が不備なところから出てくる課題と「初めての方は認知とはわからない」という声が80%を越えている点です。「よくある」20.5%、「ある」61.3%、計81.8%といったデータから見ても認定調査員に対する「認知症への理解について」不安が多く、特に4月からの認定調査の中では「認知症」の調査項目等に不安がある事が浮かび上がって来ました。

・調査員については新規や区分変更等の場合は公務員が認定を行う事になっているが、現場経験のない(資格もない)とか1年ぐらいで職場移動がある場合もあり、研修はあるが、認知症の理解という点は不安があること等、整理してゆく予定です。また、課題別、例えば「認知症ケアと研修」についてという項目を立てて分析予定。

・アンケートでは研修の参加は「希望」は36.2%だが、「時間がなくて参加出来ない」は38.8%。民間の研修は「高額(1万円以上)で参加したくても出来ない」11.7%。

・相談相手と相談を受ける側の研修が「事務所内研修」59.9%となっているのは問題がないか?

労働条件や介護保険制度との関係についての分析
・「女ばかりの職場」91.5%。ジェンダーや当事者の選択の不自由(言い出せない)状態が権利保障上どう見るのか?→家事労働の評価からくるのか?

・認知症ケアが「生活援助」のみで入っていることは批判してゆく。実態は「よくある」が14.2%、「ある」33.8%、計48%とほぼ半数!!

・必要なケアに対し時間が用意されていないので対応出来ないこと「よくある」12.9%、「ある」53.1%、計66%。

・ホームヘルプサービスの有効性に対して生活の構築とご本人の混乱に対応したり、認知症状の改善に繋がる「生活援助」や見守り、声かけ等が評価されていない→身体への評価なしの現状。「よくある」14.2%、「ある」33.8%計48%。

今回のワーキングも分析作業を中心にを行います。

日時: 4月26日(日)10:00～

場所: 千代田区役所1階

申し込み・問い合わせ先: ファックスにて

